

## おわりに

教育改革の大きなうねりの中、「総合的な学習の時間」を中心にして学校改善が進められています。小学校・中学校においては、全面実施を1年後に控えて、全ての学校で、各学校の特色を生かした実践が進められています。盲・聾・養護学校では、領域・教科を合わせた指導との関連を整理しつつ、その成果を生かした試行が行われています。また、高等学校においても「総合的な学習の時間」を経験した生徒たちが入学してくることを踏まえ、生涯学習につながる「総合的な学習の時間」の取組が始まっています。

そこで、当センターでは、昨年度「総合的な学習の時間」研究プロジェクトを立ち上げ、2年目である本年度は、「総合的な学習の時間」を位置付けた「カリキュラム開発」に視点を当て、本教育資料を一つの提言として府内各校にお届けすることにしました。

資料の特徴としては、小学校、中学校、高等学校、盲・聾・養護学校の全校種について「カリキュラム開発」の進め方を追究しています。

また、「総合的な学習の時間」を位置付けた「カリキュラム開発」の視点を掘り下げ、各校種別に実践例やプラン例を掲載しています。見やすく、分かりやすいように具体例をあげ、図や表を多用しました。

本年度の研究は、スーパーバイザーとして、あるいは研究協力員として、下記の先生方にお世話になりました。また、京都府教育庁指導部高校教育課との合同研究体制をとることができました。

この教育資料は、皆様の御協力の賜であると感謝し、各校での実践に役立つことを願っております。

### 平成12年度研究協力

#### スーパーバイザー

大阪市立大学

助教授

木原俊行

#### 研究協力員

園部町立園部小学校

教諭

山下正己

城陽市立南城陽中学校

教諭

長澤秀明

京都府立聾学校

教諭

川上由起

### 平成12年度共同研究

京都府教育庁指導部高校教育課

京都府総合教育センター「総合的な学習の時間」研究プロジェクト

《学校教育情報データベース入力情報》

- 主 題 名 : 「総合的な学習の時間」を創るための基盤づくりの研究  
副 題 名 : 「カリキュラム開発」を考える  
著 者 名 : 今 野 芳 子  
掲 載 誌 名 : 京都府総合教育センター・教育資料平成12年度第1号  
刊 行 年 月 : 2001年03月  
掲 載 ページ : 0001～0160  
キ ー ワード : 生きる力、教育課程、カリキュラム開発、学校・家庭・地域連携、自己評価、相互評価、カリキュラム評価、主体的な学習、問題解決力、学び方、生き方  
研 究 対 象 : 小学校、中学校、高等学校及び盲・聾・養護学校  
研 究 方 法 : 理論研究、先行事例研究、実践例・プラン例収集  
文 献 種 類 : 研究資料  
内 容 要 約 : 「総合的な学習の時間」を位置付けた「カリキュラム開発」の課題を探り、移行期から本格的実施を含む時期の「総合的な学習の時間」を創るに当たっての「カリキュラム開発」の基本的な考え方・在り方を追究した。小・中学校、高等学校、及び盲・聾・養護学校の各校種の特徴を踏まえ、「総合的な学習の時間」設定の参考になる実践例やプラン例を記載し、実践への活用を図った。  
要約作成者 : 塩 見 裕  
保存機関名 : 京都府総合教育センター

教育資料 平成12年度第1号

**「総合的な学習の時間」を創るための  
基 盤 づ く り の 研 究  
- 「カリキュラム開発」を考える -**

発 行 平成13年3月  
京都府総合教育センター  
〒612-0064 京都市伏見区桃山毛利長門西町  
T E L 075-612-3266  
F A X 075-612-3267  
ホ-ムペ-ジ URL <http://www1.kyoto-be.ne.jp/ed-center/>  
E-mail [ed-center@kyoto-be.ne.jp](mailto:ed-center@kyoto-be.ne.jp)